

# 委員会活動レポート

常任委員会や特別委員会などは、市民生活に深く関わる課題などについて、会期中以外にも調査、研究を行っています。最近の活動内容をご紹介します。

## 中核市移行に関する調査特別委員会

1月22日(月)

【執行部説明】これまで5回の庁内検討会で調査検討してきた。中核市として目指す将来像の案として、「健康」をまんやかに、「活躍できるステージ」と「ほっとできる居場所」がある街をイメージし、もっとウェルビーイングな暮らしづくりを目指すことを議論した。検討課題として保健所設置や人材確保等がある。

**Q** 保健所の設置における医師や獣医師等の人材確保は大きい問題である。現状の分析ではどのような意見が出ているのか。

**A** 保健所設置は人材確保などの課題があるが、中核市に移行したことによる行政サービスの効率化などのメリットも意見として出ている。保健所設置も含めたあらゆる議論を通じて、中核市に移行する、しないのどちらがより市民サービスの向上が図られるのかという議論を行っていく。

**Q** 先行自治体では児童相談所の設置により子育て関連事務がスムーズに進むようになったと聞く。児童相談所の設置は検討しているのか。

**A** 中核市でも児童相談所を設置している自治体は少なく、その要因として施設建設や人員配置に対して国から十分な財政支援がないことが挙げられる。現在、法定移譲事務をベースに検討を進めており、任意移譲事務である児童相談所の設置は、国や他市の動向を注視しながら検討していきたい。

2月8日(木)、9日(金)

行政視察 先行して中核市に移行している愛知県一宮市議会、福井県福井市議会を視察し、中核市移行に至るまでの経緯や、移行に伴う業務、保健所の設置、市民の反応、移行の効果、今後の課題などの説明を受けました。



愛知県一宮市議会の視察の様子

## 佐賀空港の自衛隊駐屯地計画に関する調査特別委員会

1月12日(金)

現地視察 佐賀空港ターミナルビルの屋上で駐屯地工事の進捗状況について説明を受けた後、国造掘樋門で排水関連施設の概要等について説明を受けました。この施設は、駐屯地等に降った雨水を一時的に貯留して、堤防の外から取水した海水と混合し排水するもので、有明海漁協の要望に基づき設置されるものです。

2月9日(金)

【執行部説明】駐屯地への誘導路整備及び空港水路の改修工事において、空港建設に関する公害防止協定書に定められた対策が適切に措置されているかを確認するため、県と事前協議を行った。市として、適切な対策が措置されていると判断されるため、「異議なし」と回答する。

**Q** 工事中に発生した汚濁水等の水質検査の方法は。

**A** 濁水処理施設に検査機器が設置され常時検査が行われ、水質基準を満たしたものだけを排水する。

## 経済産業委員会

2月13日(火)

J Aとの勉強会を開催！

J AさがとJ A佐賀中央会から、後継者対策、さが園芸888運動の進捗状況、物流問題、労働力不足、耕作放棄地など、直近の農業情勢に関する説明を受けた後に、執行部も交えた意見交換を行いました。



## 議会広報広聴委員会

1月24日(水)、25日(木)

行政視察 市議会では現在、議会だよりのリニューアル挑戦中です。先進地である広島県東広島市議会、大阪府八尾市議会を視察し、リニューアルの手法や改善点などを学び、大きな刺激を受けました。